

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【公開番号】特開2012-81139(P2012-81139A)

【公開日】平成24年4月26日 (2012.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-017

【出願番号】特願2010-230869(P2010-230869)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月15日 (2013.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立後、開始条件の成立に基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して所定期間経過後に表示結果を導出表示する可変表示装置と、

前記始動条件のうち未だ前記開始条件の成立していない始動条件を所定の上限数まで記憶する記憶手段と、

該記憶手段に記憶される前記始動条件のうち前記開始条件の成立した始動条件について予め決められている当選条件が成立するか否かを判定する開始時当落判定手段と、

該開始時当落判定手段に基づいて前記可変表示装置を表示制御する表示制御手段と、

前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立したと判定されたことに基づいて遊技者に利益を付与する利益付与状態の制御を実行する利益付与状態制御手段と、を備え、

前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立したと判定された場合に前記表示制御手段によって前記可変表示装置に特定表示結果を導出表示した後、前記利益付与状態制御手段によって前記利益付与状態に制御する遊技機において、

前記当選条件の成立割合を通常よりも向上させる高確率状態に制御する高確率制御手段と、

前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立すると判定された場合に、前記利益付与状態の終了後に前記高確率状態の制御を開始し前記複数種類の図柄情報の変動表示回数が所定の上限回数に達したことに基づいて前記高確率状態の制御を終了する第 1 利益態様と、前記利益付与状態の終了後に前記高確率状態の制御を開始し再び前記利益付与状態となったことに基づいて前記高確率状態の制御を終了する第 2 利益態様と、を含む複数種類の利益態様のうちいずれかに決定する利益態様決定手段と、

前記利益付与状態終了後に実行された前記複数種類の図柄情報の変動表示回数を計数する計数手段と、

前記利益態様決定手段によって前記第 1 利益態様に決定された場合に前記計数手段の計数結果が第 1 可変表示回数に達してから前記上限回数に達するまでの特別回数の変動表示に亘って、前記第 1 可変表示回数に達する以前よりも前記当選条件の成立に対する遊技者の期待が高まるような特別演出を実行する特別演出実行手段と、

前記利益態様決定手段によって前記第2利益態様に決定された場合に前記利益付与状態終了後に前記第1利益態様と同様の制御を実行して前記特別演出と同様の擬似特別演出を実行するか否かを判定する擬似演出判定手段と、

該擬似演出判定手段により前記擬似特別演出を実行すると判定した場合に前記計数手段の計数結果が前記第1可変表示回数に達してから前記上限回数に達するまでの前記特別回数の変動表示に亘って前記擬似特別演出を実行する擬似特別演出実行手段と、

該擬似特別演出実行手段による前記擬似特別演出の実行中に前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立すると判定されることなく前記利益付与状態終了後の前記複数種類の図柄情報の変動表示回数が前記上限回数に達した場合に前記第2利益態様に制御していることを示唆する昇格演出を実行する昇格演出実行手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技球の転動可能な遊技領域が前面に形成された遊技盤と、

遊技者による発射強度の調整操作に応じて前記遊技領域の任意の位置に遊技球を打込むことが可能な発射装置と、

前記遊技領域に遊技球を受入可能に設けられ、遊技球の受入れに基づいて前記始動条件を成立させる始動口と、を備えることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記遊技領域に設けられて遊技球を受入可能な開放状態と遊技球を受入れ困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口装置を更に備え、

前記利益付与状態制御手段は、前記大入賞口装置を開閉制御して前記利益付与状態に制御することを特徴とする請求項2記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

始動条件の成立後、開始条件の成立に基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して所定期間経過後に表示結果を導出表示する可変表示装置と、

前記始動条件のうち未だ前記開始条件の成立していない始動条件を所定の上限数まで記憶する記憶手段と、

該記憶手段に記憶される前記始動条件のうち前記開始条件の成立した始動条件について予め決められている当選条件が成立するか否かを判定する開始時当落判定手段と、

該開始時当落判定手段に基づいて前記可変表示装置を表示制御する表示制御手段と、

前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立したと判定されたことに基づいて遊技者に利益を付与する利益付与状態の制御を実行する利益付与状態制御手段と、を備え、

前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立したと判定された場合に前記表示制御手段によって前記可変表示装置に特定表示結果を導出表示した後、前記利益付与状態制御手段によって前記利益付与状態に制御する遊技機において、

前記当選条件の成立割合を通常よりも向上させる高確率状態に制御する高確率制御手段と、

前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立すると判定された場合に、前記利益付与状態の終了後に前記高確率状態の制御を開始し前記複数種類の図柄情報の変動表示回数が所定の上限回数に達したことに基づいて前記高確率状態の制御を終了する第1利益態様と、前記利益付与状態の終了後に前記高確率状態の制御を開始し再び前記利益付与状態となったことに基づいて前記高確率状態の制御を終了する第2利益態様と、を含む複数種類の利益態様のうちいずれかに決定する利益態様決定手段と、

前記利益付与状態終了後に実行された前記複数種類の図柄情報の変動表示回数を計数す

る計数手段と、

前記利益態様決定手段によって前記第1利益態様に決定された場合に前記計数手段の計数結果が第1可変表示回数に達してから前記上限回数に達するまでの特別回数の変動表示に亘って、前記第1可変表示回数に達する以前よりも前記当選条件の成立に対する遊技者の期待が高まるような特別演出を実行する特別演出実行手段と、

前記利益態様決定手段によって前記第2利益態様に決定された場合に前記利益付与状態終了後に前記第1利益態様と同様の制御を実行して前記特別演出と同様の擬似特別演出を実行するか否かを判定する擬似演出判定手段と、

該擬似演出判定手段により前記擬似特別演出を実行すると判定した場合に前記計数手段の計数結果が前記第1可変表示回数に達してから前記上限回数に達するまでの前記特別回数の変動表示に亘って前記擬似特別演出を実行する擬似特別演出実行手段と、

該擬似特別演出実行手段による前記擬似特別演出の実行中に前記開始時当落判定手段によって前記当選条件が成立すると判定されることがなく前記利益付与状態終了後の前記複数種類の図柄情報の変動表示回数が前記上限回数に達した場合に前記第2利益態様に制御していることを示唆する昇格演出を実行する昇格演出実行手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このように構成することにより、利益態様決定手段によって第1利益態様に決定された場合に計数手段の計数結果が第1可変表示回数に達してから前記上限回数に達するまでの特別回数の変動表示に亘って第1可変表示回数に達する以前よりも当選条件の成立に対する遊技者の期待が高まるような特別演出を実行することにより、高確率状態を終了するまで利益付与状態に対する期待を持続させることができ、遊技興趣の低下を抑止できる。また、利益態様決定手段によって第2利益態様に決定された場合にも所定の割合で利益付与状態終了後に第1利益態様と同様の制御を実行して特別演出と同様の擬似特別演出を実行し、該擬似特別演出の実行中に開始時当落判定手段によって当選条件が成立すると判定されることがなく利益付与状態終了後の複数種類の図柄情報の変動表示回数が高確率状態の上限回数に達した場合に第2利益態様に制御していることを示唆する昇格演出を実行するため、第1利益態様に決定されて特別演出を実行している場合に利益付与状態に対する期待だけでなく、第1利益態様から第2利益態様への昇格に対しても期待させることができ、遊技興趣を向上させることができる。

また、遊技球の転動可能な遊技領域が前面に形成された遊技盤と、

遊技者による発射強度の調整操作に応じて前記遊技領域の任意の位置に遊技球を打込むことが可能な発射装置と、

前記遊技領域に遊技球を受入可能に設けられ、遊技球の受入れに基づいて前記始動条件を成立させる始動口と、を備えることを特徴とする。

また、前記遊技領域に設けられて遊技球を受入可能な開放状態と遊技球を受入れ困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口装置を更に備え、

前記利益付与状態制御手段は、前記大入賞口装置を開閉制御して前記利益付与状態に制御することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このように、本発明によれば、高確率状態の制御を終了するまで利益付与状態に対する期待を持続させることができることに加えて、第１利益態様から第２利益態様への昇格に対しても期待させることができ、遊技興趣の低下を抑止できる。